



田川建設労働組合

HP: <https://www.tagawa-kenrou.or.jp>

E-mail: tagawa-kenrou@tagawa-kenrou.or.jp

HP



近のわざ シリーズ

第30回

今回は、職人歴六十五年の山田光男さん（鼠ヶ関支部・建具工）を紹介します。山田さんは念珠関中学校を卒業後、東京で大工を三年勤めた後、家業を継ぐために昭和三十五年から建具職人となり、県内外で活躍しています。

昨年、山本建築さん（羽黒支部）と合同で製作した、羽黒山参道入口に建つ、二基の灯籠は精緻な造りで、長年建具職人として活躍されてきた山田さんならではの丁寧な作業が伺える作品です。

（記・教宣部
本間 吉紀）

発行所

=全建総連加盟=

田川建設労働組合
教宣文化部

山形県鶴岡市大塚町26-13
電話 (0235) 22-2832
FAX (0235) 22-3370



E-mail

HP

組合員の皆様、御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より組合活動、建設国保の諸運動に多大なる御理解と御協力を賜っております事に御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症もようやく収束し、五月八日で季節性インフルエンザと同じ「五類」へと移行しました。これにより、対面での会議、事業、催し物がコロナ禍前にまで戻つて



発刊に寄せて

執行委員長

和田吉和

の活動が出来ると思っています。
先の第六十八回定期大会に於いて、皆様よりご審議頂き承認されました予算、事業方針で令和五年度が計画通り活動している状況にあります。組織人員の減少に歯止めのかからぬまま高齢化が進み、若者が入職しない状況の中、シニア会の発足を促し、脱退防止に努めてまいりますので、是非、御協力をお願いします。

五月十三、十四日、神奈川土建一般労働組合第五十二回定期大会に初めて参加してきました。神奈川県以外の来賓者は、全建総連、東京土建、千葉土建、全京都労働組合、福岡建労、田川建労の六組合で、唯一単組で招待されたのが田川建労だけでした。そこで、少し調べてみました。

昭和二十六～二十八年頃、全建労の加藤書記長

（のちの全建総連委員長）が再三、鶴岡土建労組

を訪れ、建設労組の結成指導に当たり、昭和三十

一年一月、田川建設労働組合が設立されました。山形県連は昭和三十七年が始まりで、県連が出来ないうちに、田川建労独自で中央に参加していた事になります。この様な経緯で、全建総連との繋がりが出来ました。又、その頃は田川建労からの出稼ぎ者も多く、留守家族懇談会もあり、交流を深めたと聞いています。

平成十年の佐藤労災により、関東四土建との交流が盛んになり、田川・首都圏の相互に、出稼ぎ者や留守家族を交えた懇談会も開催されるようになりました。神奈川土建の益田委員長は「故三浦一男全建総連中央執行委員長からは大変お世話になつた」と感慨の思いで話してくれました。

この様な関係から、田川建労は単組ながら全国の仲間の皆さんと交流が出来るのだと実感致しま



▲挨拶を行う和田委員長

去る二月二十六日、感染対策のため代議員の約半数の方に委任状出席として頂き人数を減らした状態ではあります。

4月には、令和五年度の運動方針に従い各専門部会も開催され本格的に組合活動が始動しましたが、山積する国内問題に目を向け自分として考えるとただ事ではありません。ウクライナ情勢の影響を受け、資材や食料流通に支障が出たり、生活に不安が広がり、それ

員となっていた執行委員も白澤新執行委員が承認され新体制がスタートしました。

今年の春は寒暖の差が大きく、皆さんも体調に気をつけ仕事に向かっている事と思います。

私は三十代初めから、工務店を始めて、主に木造住宅を建ててきました。建主様と打合せを重ねて、お客様の希望に添えるようにと汗を流してきましたつもりです。しかし最近は、体が思うように動けなくなり、仕事を断わる事も多くなっています。その分、自分が多くの時間が多くなり、色々な事に参加できるようになります。

今、建労の抱える諸課題は多岐に渡り若い力もお借りしながら、森林事業者や関連事業者と連携を図り、コロナ前の景気回復に期待し解決を図ります。

青葉が芽吹く初夏の頃、皆様方には御健勝のこととお慶び申し上げます。コロナの出口がようやく見え始め、周りの様子も華やぎを取り戻しています。やつとここまで来たなと振り返り、安堵しています。

昨年、体調不良のため急遽退任された閔前委員長に代わり就任した和田委員長のもと、令和4年度の経過報告・決算報告に続き、令和五年度の運動方針も無事承認され、欠員となっていた執行委員も白澤新執行委員が承認されました。



▲質問を行う代議員

田川建設労働組合定期大会

第68回

人々は心に風を吹き込み、自分らしさを取り戻しつつあります。この先の人流増加に伴う感染に気を付けて現状にも対応しながら健康で頑張りたいと思います。

こんな時だからこそ、一丸となり皆様の力を借りするときです。どうぞよろしくお願い致します。

(記・教宣部 上野 賢吉)

就任の御挨拶



社会保障対策部長
白澤 勝 敏（西郷分会）

なのかなと思います。

四月に初めて、山形県建設労働組合連合会第六十二回定期大会に出席させていただき、

たくさんの方々の考え方、意見等を聞くことができました。

私は社会保険対策部長として、健康管理学習会の開催や健康診断の受診率向上のための活動、又、建設国保の予算確保活動のハガキ要請行動のお願い等で、皆さんと一緒に組合活動を行っていこうと思



▲特別表彰を受ける山本秀康さん

第62回

県連定期大会

副執行委員長 佐 藤 晃

第六十二回山形県建設労働組合連合会定期大会が、去る四月十八日・十九日の両日に、天童温泉「天童ホテル」で開催されました。今年度も、新型コロナ感染拡大の観点から、参加者を縮小し、半日日程の大会となりましたが、分科会は開催されました。田川建労から県連役員として五名、議員十名の参加で、大会全体としては、県連役員三十名、代議員七十六名の参加人数でした。大会役員として田川からは議長に佐々木博良賛金・税金対策部長、議事運営委員に佐藤三郎教宣文化部長、資格審査委員に五十嵐恵治住宅・技術対策部長が選任されました。

初めに、関川俊夫県連執行委員長より挨拶がありました。三月三十日に不慮の事故で亡くなられた、前県連執行委員長佐藤四男氏のこれまでの功績に対し、お札の言葉がありました。最重要課題である組織拡大運動は、組織拡大キャラバン行動を行つたが、コロ

とから後継者の育成は、労働条件の改革や働く時間管理への理解などが課題なので、働き方改革学習会のオンラインセミナーを開催する予定があるとの事でした。

その後、議事運営委員会報告と資格審査委員会報告があり、議事に入りました。第六十一期経過報告・決算報告・会計監査報告は、賛成多数により承認されました。

休憩後、第六十二期運動方針（案）・予算（案）の提案があり、その後、各分科会（五分科会）に移動し、運動方針等が討議されました。分科会終了後に本会議場へ移動し、

大会表彰では、和田吉和執行委員長が、加盟組合役職員表彰を受けられました。表彰を受けられました。運動方針（案）・予算（案）が討議され、特に質疑もなく承認されました。分科会報告は限られた時間の関係から後日、文書にて提出する事となるとの事でした。

一方で、新聞の発行は酒田で年二回に『かわら版』なるものの発行、田川の年二回の発行状況で他の組合では発行が途絶えてしまっている現状のようでした。

一方で、新聞の発行は酒田で年二回に『かわら版』なるものの発行、田川の年二回の発行状況で他の組合では発行が途絶えてしまっている現状のようでした。

県連定期大会 分科会

▲議長を務める佐々木さん(右奥)



▲議長を務める佐々木さん(右奥)

令和五年四月十八日火、県連第六十二回定期大会が「天童ホテル」を会場に開催されました。その中で十の専門部会を五の分科会（第一分科会

（記・教宣部 村上 寛）

の第四分科会への出席となり、田川からは佐藤三郎教宣部長、畠山正組織部員と私の三名が出席となりました。先ず初めにそれぞれの所属組合、職種、全員の自己紹介から始まり、寒河江の吉原秀夫氏を議事進行役に会議が始められました。組織・教宣の分科会だけにやはり話題は組織人員の確保で



▲分科会に参加する代議員



▲申入れを行った三役

市申入れ行動を、昨年十二月十四日に鶴岡市役所本庁舎三階序議室で行ないました。鶴岡市より皆川治市長、村上良一建設部長、坂井正則建築課長の三名の方が出席されました。田川建労から、和田吉和執行委員長、佐藤力副執行委員長兼組織対策部長、佐藤晃副執行委員長兼財政部長、村山弘毅事務局長の四名で参加しました。

申入れ行動として、①市の産材・施工事業者を活用した住宅リフォーム支援補助金制度、空き店舗解消リフォーム事業補助制度を始めとするリフォーム支援事業を継続・発展して頂きたい。②市発注の公共工事などにあつては、若者が安心して入職できる単価

鶴岡市申入れ行動

副執行委員長 佐藤 晃

・末端労働者にまで行き渡る
方法において、田川建設労組
組合の組合員を始めとするは
元建設技能者を活用されま
よう御配慮を賜りたい。(3)
わゆるウッドショックを始
とした資材高騰により工事費
積りが非常に難しい状況にな
ります。公共工事などにあ
ては、当初の見積りにとら
れることなく、資材高騰分
については柔軟な対応をお願
したい。加えて納期遅れによ
る工期延長にもご理解、ご配
慮頂きたい。(4)若手建築技
術者育成のため、庄内職業高
専門校への庄内市町村会に
る法令外負担金の継続負担を
お願いしたい。(5)令和五年一
月二十六日開催の当組合第
十八回定期大会に御臨席を望
りたい。

以上の要望書を和田執行委員長が読み上げ、要望事項の説明後、鶴岡市長に手渡しました。市側の返答として皆川市長より、①住宅リフォーム支援補助金制度は昨年より早く予算に達した。空き店舗解消リフレーム事業補助金制度も昨年は不調だったが、今年度は制度が周知されたのか、予算に達するのが早かつた。さらなる拡充も検討していくたい



▲庄内町町長と

二町一村申入れ行動

賃金・税金対策部長 佐々木 博良

継続、以上三項目についてであります。

今年も庄内町 三川町そ
て大蔵村役場へ皆さんのが
要望を伝えて参りました。私
共の要望は各町村で名称は違
えども、住宅所得やリフォー
ムに対する支援や補助金の維
持継続。そして公共工事設計
労務単価が毎年引き上げられ
ていますが、末端労働者の賃
金はそれを反映しているとは
とても言えない状況なので、
改善を求める。さらに、若手
建築技能者を育成する為、庄
内町、三川町に対し、庄内職
業高等専門校への庄内市町村
会による法令外負担金の維持

ゴールデンウイーク中の五
月一日、八時四十五分、執行
部三役と賃税対策部の私、そ
して余目、立川の両奥山支部
長と共に、庄内町の富樫町長
と面談致しました。委員長が
町長に要望書を手渡し、写真
撮影後、先程述べた三項目に
ついて、御礼とお願いをさせ
て頂きました。滞在時間は三
十分程でしたが、両支部長か
ら出たりフォーム補助金につ
いての質問にも建設課長より
適切なお答えを頂きました。



▲三川町町長と



▲大蔵村村長と

五月二日 大蔵村村長と十時三十分に面会予定という事で、三役と八時四十五分に組合を出発。最上川を遡る形で村役場を目指し、先着の土田支部長と共に加藤村長と前日同様の手順で面会致しました。会話中、大蔵村は豪雪地帯の為、除排雪作業には地元建設業者を利用して事や間近に迫る新庁舎建設にも地元業者優先とする事、統合による学校跡地の利活用、リスクの少ない水力発電について熱く語つて頂きました。最後に、土田支部長は子供達の活動に尽力し、本に対する思いが強い方だとお褒めの言葉を頂き、十三時三十分帰還し、今年の申入れ行動を終えました。

望していただきたい。(5)貴組合の定期大会には、是非出席させていただきたい、とのお言葉を頂きました。皆川市長のお忙しい公務の中、限られた時間ではありますましたが、和やかな雰囲気の中申入れ、懇談していただき有難うございました。

その後、庄内町を後にし、十時に三川町役場で大井支部長と待ち合わせて阿部町長と面会。庄内町と同じ手順を踏み、設計労務単価の不合理や今ままででは職人が居なくなるなど賃金アップの必要性について話し合い、申入れ行動初日を終えました。

建設国保は命と暮らしを守る大切な制度です。毎年二月に建設国保通常組合会が行われます。国保をする為に、今年度は三年振りで保険料が値上げとなる計画案が盛り込まれております。予算も被保険者の減少により五千円と定める予算になります。財源としては約三千万円不足している実態にあり、こうした状況はここ数年間継続して、国保財政を圧迫する要因の一つとなつてきています。国保財政への更なる悪影響を解消するため、第二号被保険者の介護納付保険料月額五百円、成女・一家にかかる医療保険料月額二百円値上げとなり、年間四千五千万円程度の保険収入が確保できる見通しになるようです。令和五年度事業計画案、



▲議事に目を向ける田川の参加者

建設国保 通常組合会

住対・技術対策部長 五十嵐 恵治

建設国保は命と暮らしを守る大切な制度です。

毎年二月に建設国保通常組合会が行われます。国保をする為に、今年度は三年振りで

保険料が値上げとなる計画案が盛り込まれております。予算も被保険者の減少により五千円と定める予算になります。

財源としては約三千万円不足している実態にあり、こうした状況はここ数年間継続して、国保財政を圧迫する要因の一つとなつてきています。国保財政への更なる悪影響を解消するため、第二号被保険者の介護納付保険料月額五百円、成女・一家にかかる医療保険料月額二百円値上げとなり、年間四千五千万円程度の保険収入が確保できる見通しになるようです。令和五年度事業計画案、

予算案等、審議事項全て満場一致で可決されました。

特定健診については、引き続き七〇%以上の受診率（目標）になるように働きかける事が重要だと思います。

保健事業については、各種資金の貸付、健康診断の助成、保健予防事業の推進（レンタル再読影等）、保険給付事業については、出産育児一時金が一回につき五十万円支給

に改正されます。国庫補助金を守るために、母体組合と密に連携強化して、支部も一般組合員からも葉書要請運動等にも協力頂き、補助金の増額を願いつつも運動を続けて、建設労と建設国保は一体となるよう働きかけていかなければなりません。

建設労の活動報告①東京都連「第46回住宅デー東京土建方針」、②熊本建労「復興住宅労の住宅デー活動報告」、八奈川県連菅野中執）と会議は進みました。

一日目は、特別講演をお聴きして終了しました。

二日目は分科会でそれぞれ自己紹介の後、それぞれの建

全国住宅 活動者会議

副執行委員長
佐藤 力

三月九日木、十日金の二日間、全建総連会館会議場において開催された、住宅対策部会に参加しました。

第十五代執行委員長が逝去されました

訃報

閔寬前執行委員長が、去る令和五年二月二十七日逝去されました。

閔さんは、平成二十年に本部委員に就任後、平成二十四年からは執行委員、平成三十年からは副執行委員長、そして令和四年からは執行委員長・山形県建設労働組合連合会副委員長とし

て重責を担われました。執行委員長としてご活躍が期待された矢先、体調不良で辞任され療養に専念されましたが、このような残念な結果となりました。

三月三日、アク・サン本町で執り行われた葬儀では、別れを惜しむ大勢の会葬者に見送られ、お旅たちになりました。

ここに生前の御尽力に改めて感謝の意を表し安らかにお休み頂けますよう、ご冥福をお祈りいたします。

いて」弁護士法人丘総合法律事務所代表社員弁護士秋野卓生氏、七・組合からの住宅デーの活動報告①東京都連「第

労の抱える問題提起をお願いしたら、九州、四国、中部の仲間から建設キャリアアップシステムへの対応状況を説明後、全く浸透していない状況を改めて説明した後、建設キヤリアアップシステムは必要なのかと質問されて本部側は

答弁に困ったようで、とにかく必要なのだという答弁でした。



▲選手宣誓の様子

五月二十八日(日)創造の森を会場に、今にも雨が降つてきそうな曇り空のなか、新型コロナウィルス感染症の五類移行後、一〇九名もの参加者でグラウンドゴルフ大会が開催されました。

マスクをされている方もお

りましたが、和氣あいあいと笑い声があり、とっても楽し見ていますと、コロナ前に戻りつつあるのだなと感じられました。いつ土砂降りの雨になりました。おかしくない空模様でした。バラバラの小雨程度で表彰式まで過ごすことが出来ました。

表彰式では多くの方のホールインワン賞があり、また、たくさんの飛び賞もあり、自分の名前がいつ呼ばれるかとわくわくする表彰式でした。

試合結果は次の通りです。

*男子の部

- | | | |
|-------|---------|------|
| 一位 本間 | 裕夫(鼠ヶ関) | 四十四打 |
| 二位 佐藤 | 進(立川) | 四十三打 |
| 三位 石塚 | 薰(立川) | 四十二打 |



▲プレーを楽しむ参加者

第27回 グラウンドゴルフ大会

*女子の部

- | | |
|--------------|------|
| 一位 村井 文子(立川) | 四十四打 |
| 二位 鈴木 和子(建具) | 四十四打 |
| 三位 今野 恵子(上郷) | 五十一打 |

来年は、天気に恵まれもつとたくさんの参加者で開催されることを願っています。

(記・教宣部 新閏辰夫)

主婦の会 健康管理 学習会

主婦の会会長
佐々木 智美

表彰式では多くのホーリング賞があり、また、たくさんの飛び賞もあり、自分の名前がいつ呼ばれるかとわくわくする表彰式でした。

試合結果は次の通りです。

おかげ様で今年も主婦の会の大切な行事の一つ、健康管理学習会を五月二十一日に開催する事が出来ました。

今日は、山形県建設国保組合保健師の高橋純さんより「おいしく食べて生活習慣病を防ぐ」というテーマでお話をいただきました。

日本はトップレベルの長寿を誇っていて、最後の十年前後は寝たきりなど介護が必要な状態のこと。そして、

日本人の死因の上位は生活習慣病(がん、心臓病、脳卒中、糖尿病)で、食べ過ぎ、飲み過ぎなど健康に良くない生活習慣がもとで発症するので、この発症に関係している食生活と運動に気をつけることで生き出来ると教えていただき、改めて日々の生活習慣を見直すことが大事だと感じました。

食生活の改善のポイントは、適切な体重を保つためにエネルギーの取り過ぎを防ぐ。栄養バランスの良い食事を摂る。野菜をたくさん食べ、果物も適量取ると癌を防ぐことにつながる。食塩や脂肪の摂り過ぎを防ぐ。動物性脂肪を摂り過ぎると心筋梗塞になりやすい。青魚を食べている人は認知症になりにくい。そして、骨粗鬆症にならないようカルシウムをしつかり摂つて、運動はスクワットなど骨に刺激を与えることも大切。等、スライドと資料で分かりやすく教えていただきました。

今回も皆さんからにこやかにご参加いただき、「分かりやすかった。勉強になった」との感想をお聞きました。

将来、寝たきりにならないために、御家族の皆さんと日々の生活を見直して健康づくりを頑張りましょう。

良い食材選びをしようと思います。

普段運動をしていないこと

も気になつていて、スクリケットだつたら何とか頑張れそうな気がしています。他に大切なことは、健診を受け

ること。メタボを早期発見したり、生活習慣病の重症化を防いだり、医療費の削減ができるので健診は受けましょ



▲高橋保健師の話に耳を傾ける参加者



▲税理士の話を真剣に聞く参加者

やさしい確定申告講習会

賃金・税金対策部 馬 場 充

去る二月四日、五日の二日間に渡り、税務署職員のOB、税理士の原田洋先生を講師に招き、毎年しなければならない確定申告にあたり、組合員の税金に対する意識の向上も狙い講習会「やさしい確定申告」が開かれました。さすが原田先生であり、きめ細かく税金の種類を一つ一つ説明して頂きました。

これらを踏まえ、三月四日、五日に確定申告の書き込み相談会も組合で行われました。確定申告の期限が三月十五日と迫った状況でもあり、組合員も真に迫った感じであり多

くの組合員の皆様に参加して頂きました。私と佐藤力副執行委員長と原田税理士の三人で手分けをして相談にのりました。私達はプロではないので、最後は原田税理士から見てもらう場面もありましたが、まずは順調に処理できたのではないかと感じたところであります。

税理士にあらだけの相談を個別にしたのなら、高額の費用がかかるのですが、この様な事業を組合としてやってきて、組合員にサービスしてき

令和五年度は、支部員総数が一〇三名で、寿会の会員数は四八名です。寿会の活動にはグラウンドゴルフ大会が催されます。グラウンドゴルフは、年齢を問わず多くの人が楽しめるスポーツであり、

住宅デーにおいては、刃物砥ぎに参加協力していただきています。長年培つた技能の提供で、地区の方々よりは「職人の砥いだ刃物の切れ味は違う。」の高評価を得ています。昨年十月には、三瀬・仁三郎旅館で四年ぶりの寿会の総会を兼ねた親睦会が開催されました。久しぶりに対面での

今年十月からは、インボイス制度が始まります。四月九日に講習会を行い、原田税理士から色々聞きましたが、組合員一丸となり税金対策をしました。

また、大山支部には磯釣りが心地よい状況でした。

支部・分会だより

大山支部 支部長 齋 藤 治

会食ができ楽しいひとときを過ごすことができたことは良かったと思います。

このように、寿会は人々が楽しく交流を深める場となつており、大山支部における重要な存在です。また、経験や知識が豊富な寿会の方々からは、若い世代の方々にとって多くの刺激や学ぶことがあります。寿会の会員の中には、自作の庄内竿を使って参加される方もおります。

住宅デーにおいては、刃物砥ぎに参加協力していただきています。長年培つた技能の提供で、地区の方々よりは「職



▲支部の行事で活躍してくれる寿会会員

第62回

全国青協

定期大会

青年部部長 渋谷 真

三年振りとなる対面開催で東京の連合会館を会場に、四十七県連一四五人の参加で第六十二回全国青協定期大会が二月十二日、十三日の二日間日程で行われました。

勝野書記長の情勢報告では、建設業の若手従事者の減少が多くなっているよう、大工職で三十歳未満は二万一千人まで減っているようだとの話がありました。

その後、経過報告や各青年部の取組み報告がありました。休日などを利用し対面を避け、保育園の靴箱の修繕や公園のベンチの設置を行ったり、街頭での組合加入の促進などを行っている組合が多くあるようでした。今年度からは規制も緩和されたので、対面での家族を含めた活動を増やしていきたいとのことでした。



▲役員改選の様子

じめ対面での行事を行つて行きたいと思います。

青年部活動も制限が多く、なかなか活動が行えない中、今年度は場所の都合もあり、

分科会を行うことは出来ませんでしたが、来年度は分科会も通常通り行う予定です。

二日目は全建総連の西税金対策部によるインボイスの特別講演が行われました。そ

の後、役員交代があり私は第六十三期の全国幹事になりました。今期は、全国議長に北

海道の七夕さんが任命されたこともあり、同じ北東地協の仲間として議長を支え、全国青協を盛り上げていきたいと

思います。

インボイス 講習会

賃金・税金対策部長 佐々木 博良

組合員の皆様におかれましては、賃金・税金対策部の活動にご理解、ご協力を頂き、感謝申し上げます。

さて、今年十月一日から施工されるインボイス制度に対する登録番号の申請期限が延長されたことで、当組合では最後の講習会を、桜の花も咲き乱れる四月九日に賃税部員一丸となって開催致しました。

最後とあって執行委員もかき集め、参加人数は最多の二十七名となりました。事の重大さを自分事として実感された事と思います。参加して頂きました組合員の皆様、心より感謝申し上げます。

今回の講習会も税理士の原田先生に講師をお願いし、配布資料を基に消費税の仕組みやインボイス制度について改めてお話を頂きました。質疑応答では「自分はもう歳なので免稅業者の現状維持でいきたいたいが如何でしょうか」といつ



▲熱心に講習をして下さる原田先生

編集談話室

三年余り続いたコロナ禍の暮らしも、三月十三日以降、マスク着用が個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となりました。今まででは、急性灰白随炎、結核等の「二類」から五月八日には、感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「五類」に引き下げられましたが、「政策」が変わつてもウイルスは変わりません。私自身は、密接、密集時には、マスク着用に心掛けています。今年のゴールデンウイークは、コロナ禍前と同じ様に外国人の観光客も増え、徐々に賑わいが戻りつつあると感じました。

答えは「取引先との交渉次第だが、その後の締め付け等が心配だ。新規の仕事確保がしづらくなるのは」とのことでした。講習会は予定時間を若干過ぎた十二時十五分に終了。

今回の制度は、従来の課税業者にとっては何ら変わりありません。これから課税業者になろうとする免税業者には税額控除等の経過措置が取られるようですが、判断次第では大増税になりかねない制度です。登録期限はまだ大丈夫とのこと、自身の働き方やこれまでの事業展開を見据え、十分な熟慮の上、判断して頂

さて皆さん、野球の第五回WBC戦を观ましたか。日本の侍ジャパンが世界一の栄冠に輝きました。三月二十日(月)準決勝のメキシコ戦で吉田選手が三点ビハインドの七回に同点の三ランを放ち、村上宗隆選手のサヨナラ勝利に大きく貢献しました。

三月二十一日(火)決勝戦は、メジャーリーガーを揃えたアメリカに村上選手と岡本選手がホームランで対抗し、最終回に大谷選手が締め、三対二で勝利し栗山監督を胴上げ。MVPに大谷選手が選ばれましたが、影の立役者は吉田選手でしょう。野球選手としては小柄ですが、今大会、打率四割九里・二本塁打・十三打点と活躍し、十三打点はWB C大会史上最多打点を更新しました。その後の活躍は、皆さんご存じの通りです。

組合員の皆さん、これから暑い季節に入ります。熱中症には十分気をつけて仕事に励みまし